

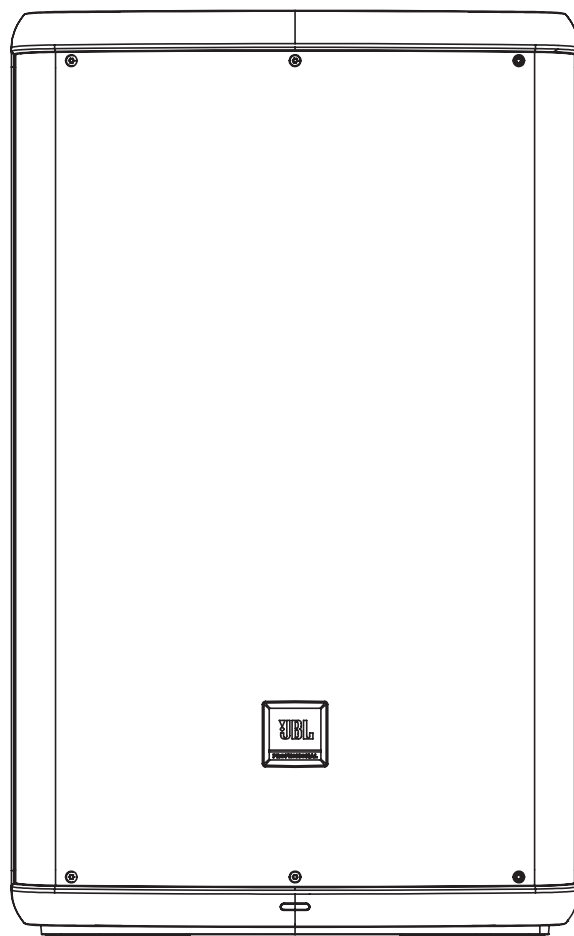


パワードスピーカー

EON700 SERIES

取扱説明書

Ver. 1.0



安全上のご注意

正しく安全にお使いになるため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、いつでも手に取れる場所に保管してください。

- 本マニュアルに記載されているすべての警告と指示に従ってください。
- 水の近くや湿度の高い環境で使用しないでください。
- 水または液体の中に入れてください。
- 直射日光の下で使用しないでください。表面が変色する場合があります。
- 表面が滑りやすいステージ上に設置しないでください。スピーカーの振動で本体が動き、ステージ下に落下することがあります。
- 85dB以上の音圧で音を出し続けると、演奏者、音楽関係者、観衆の聴力に影響を与える場合があります。
- 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。クリーニングのときは、乾いた布で拭いてください。
- 本体の通気口をふさがないように設置してください。
- 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
- 安全のため、必ず付属の電源コードをご使用ください。
- 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
- 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
- 製品受領時に外部に損傷（電源コード等を含む）が無いを確認してください。もし製品にダメージがあった場合、ただちに販売店へ連絡してください。*
- アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
- 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
- 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時や、高い湿度の環境に置かれた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
- 地域の法律に沿ってご使用ください。
- 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

※修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。
そのまま使用を続けた場合、保証期間内でも保証外となる場合があります

お手入れ・メンテナンス

- 日常のお手入れは、乾いた布で拭いてください。システムの開口部に液体が入らないようにしてください。お手入れする前に、電源コードをコンセントから抜いてください。
- シャーシ、ミキサーモジュール、電源カバーを取り外さないでください。感電の危険性があります。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は販売店にご依頼ください。
- 本製品を他の家庭ごみと一緒に廃棄したり、投棄したりしないでください。電子・電気機器の廃棄・回収・集積所については、お住まいの地域のルールに従ってください。

安全記号の説明



感電の危険性があることを示すマークです。記載されている部分のカバーは、開けないでください。



製品の取扱いにおいて、注意を喚起するマークです。安全にご使用いただくためにマニュアルの指示に従ってください。

はじめに

このたびは、JBL Professional EON710/EON712/EON715/EON718Sをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。EON700シリーズは、軽量、高音質、高機能の3拍子が揃ったパワースピーカーです。

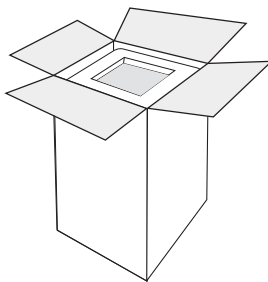
主な特徴

- 2系統の入力に加え、Bluetooth音楽再生に対応
- アンプ出力は余裕の1300W
- クリアで聴きやすい中高域、密度の濃いタイトな心躍る低域を出力
- 専用アプリにより、ワイヤレスコントロールが可能

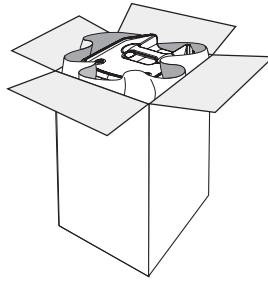
梱包内容

- EON700本体
- 電源ケーブル(2m)

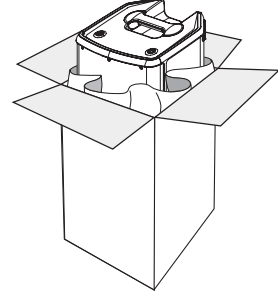
開梱の仕方



1. ダンボール箱の上面を開封してください



2. ピニールを開くと、キャビネットのハンドルが見えます



3. ハンドルを持って、箱からキャビネットを取り出してください

セットアップ

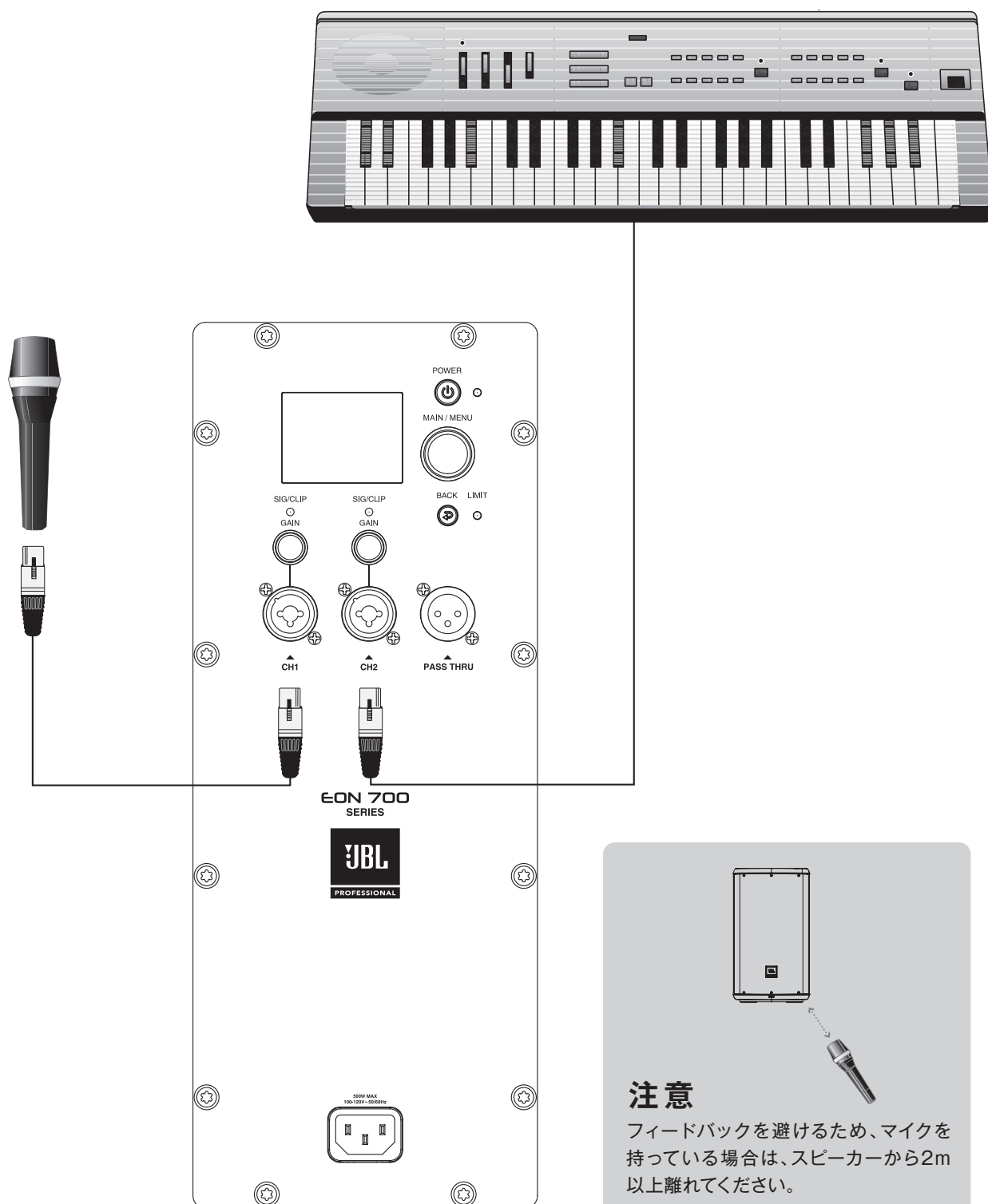
1. 任意のチャンネルに機器を接続します
2. 電源ケーブルを本体の電源端子に接続します
3. 電源ボタンを押して、電源を入れます
4. MAINつまみをゆっくり回して、メインの音量を上げます
5. お好みの音量になるまで、チャンネルゲインのノブを調整します

接続例 1

楽器とマイクをEON700シリーズに接続

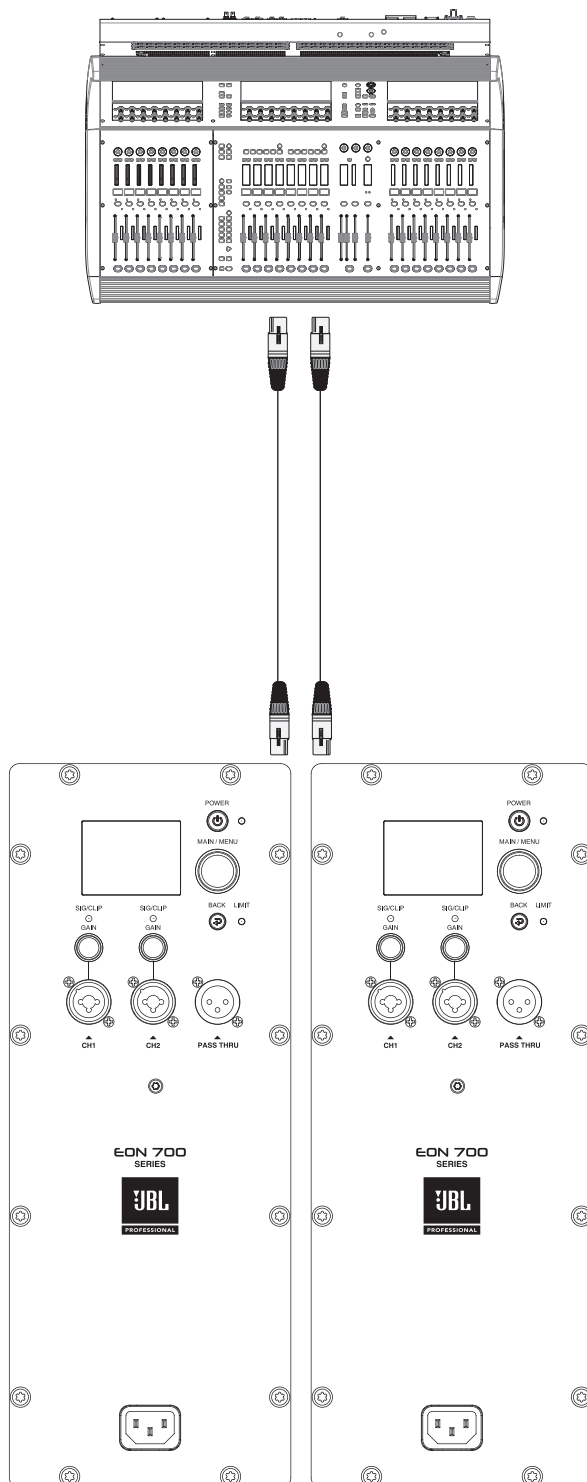
CH1 : マイク (XLRフォン・コンボ)

CH2 : マイク、キーボードなどの楽器 (XLRフォン・コンボ)

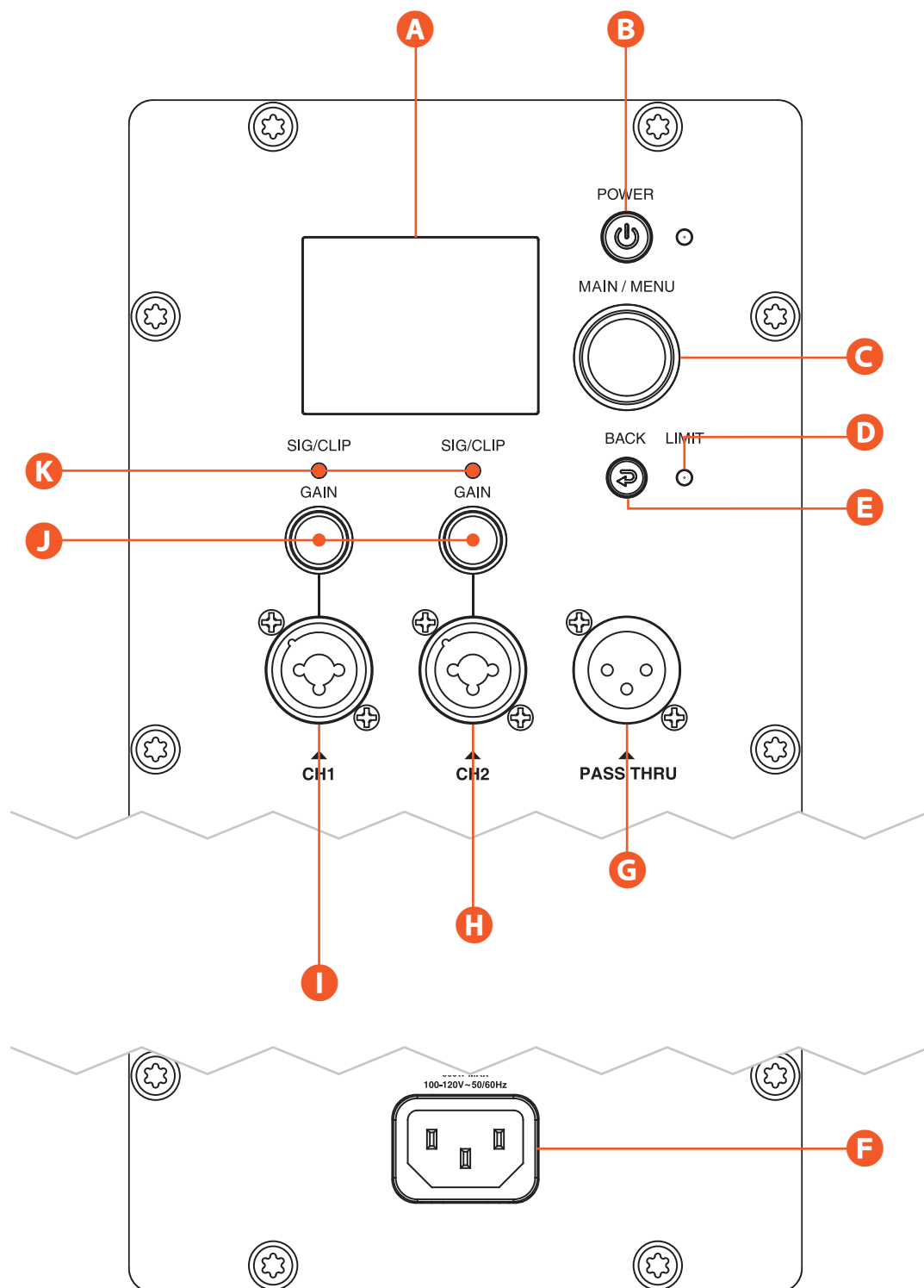


接続例 2

メインとしてEON700シリーズを2台使用



ミキサーパネル



ミキサーパネル

A 液晶パネル

- ・ 基本的な情報を表示するとともに、メニューを通じて、より高度な機能にアクセスするために使用されます。
- ・ メニュー、機能、ナビゲーションの詳細については、LCD GUI仕様を参照してください。
- ・ 画面は約4Hzと遅い速度でリフレッシュされるため、メーターなどの動きの速いものの表示には適していません。

B 電源ボタン

- ・ 電源ONとOFFの切り替えに使用します。
- ・ ONのとき、電源ボタンを長押し(0.5秒以上)すると、OFFになります。

C MAIN/MENU

- メインボリュームと画面メニューを操作します。(プッシュ式ボタンノブ)
 - ・ ノブを1回押すと、メインメニューが表示されます。
 - ・ ノブを長押し(2秒間)すると、スピーカーがミュートされます。
- メニュー画面のとき
 - ・ 時計回り：メニューを下に移動 / 反時計回り：メニューを上を移動
 - ・ プッシュ：メニュー項目を選択
- ホーム画面のとき
 - ・ 時計回り：メインボリュームが増加 / 反時計回り：メインボリュームが減少

D LIMIT

アンプがクリップを検知したときに点灯します。

E BACK

変更を保存することなく、前のメニューに戻ります。2秒間押し続けるとミックスモードになります。

F 電源コネクタ

電源ケーブルを挿し込みます。

G PASS THRU

オーディオ信号を外部に出力します。全ての入力に信号がある場合、各入力はミックスして出力されます。

H CH2 (XLRフォン・コンボ入力)

マイク/ライン信号を入力します。

I CH1 (XLRフォン・コンボ入力)

マイク/ライン信号を入力します。

J CH1&CH2 Gain

各チャンネルのGainを操作します。ノブを長押し(2秒間)すると、ミュートされます。

K CH1&CH2 シグナル クリップ LED

入力信号の状態を色で確認出来ます。

LEDの表示

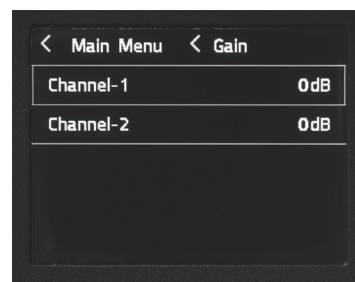
入力信号の状態を色で確認出来ます。

信号レベル	LEDの色
信号なし	OFF
ミュート	赤/緑・点滅
かなり弱い	OFF
通常	緑
強い	黄
クリッピング	赤

EasyNavの設定

メインメニュー

Main/Menuロータリーを押すと、EON700のメインメニューが表示され、EON700のメインメニューにアクセスできます。



Gain

マイクプリアンプのゲインを追加します。EON700のフェーダーは標準でLINE LEVELを調整しますが、GAINメニューにアクセスすることで、マイクを接続してレベルを調整することができます。

1. MAIN/MENUを押して、GAINメニューにアクセスします。
2. MAIN/MENUノブを回して、GAINを追加したいチャンネルを選択します。
3. ゲインを好みのレベルまで上げます。

Ducking by Soundcraft

サイドチェーン・コンプレッサーの一種で、人がマイクに向かって話しているとき音楽再生のレベルを下げるためによく使われます。この機能では、センサーとして使用するマイクのチャンネル、各チャンネルの感度、人が話している間に音楽の音量を下げる量を選択することができます。このメニューでは、ダッキング機能を有効にして、ダッキングのトリガーとなるチャンネルを選択し、各チャンネルのスレッシュホールド(しきい値)を個別に設定することができます。

1. 「Ducking by Soundcraft」を選択して、Main/Menuボタンを押します。
2. ノブを回してダッキングをON/OFFします。

Channel Sensors

Bluetooth再生のレベルに応じてダッキングを使用するマイク入力を選択できます。

1. 「Channel Sensors」フィールドに移動し、Main/Menuボタンを押します。
2. センサーとして設定したい入力チャンネルに移動し、メイン/メニューボタンを押します。
3. ノブを時計回りに回すと、そのチャンネルがダッキングのセンサーとして有効になります。これを選択すると、それぞれのチャンネルが信号を検知し、Bluetooth入力に対してダッキング機能が作動します。
4. ノブを反時計回りに回すと、そのチャンネルがダッキングのセンサーとして無効になります。この機能を無効にすると、このチャンネルで信号を検出しても、Bluetooth入力に対してダッキング機能は作動しません。

Channel Sensitivity

各マイク入力チャンネルが、どの音量レベルでダッキングのスレッシュホールドをトリガーするかを選択することができます。強い声に対して反応させたい場合は、センサーレベルを高くします。弱々しい声に対して反応させたい場合はセンサーのレベルを低くします。

1. 「Sensitivity Parameters」がハイライト表示されている状態で、Main/Menuノブを押すと、値を選択・編集できます。
 2. 編集したい各チャンネルに移動し、Main/Menuノブを押して選択します。
 3. パラメータを変更します。
 4. Main/Menuノブを押して変更内容を保存します。
- 注) BACKボタンを押すと、この調整がキャンセルされます。

Range

信号を検知した際に、Bluetooth入力の音量をどの程度下げるかを決めるパラメータです。

1. 「RANGE」に移動し、Main/Menuノブを押します。
 2. パラメータを変更します。
 3. Main/Menu ノブを押して変更内容を保存します。
- 注) BACKボタンを押すと、変更がキャンセルされます。

Release Time

信号が検出されなくなった後、Bluetooth入力が通常の音量に戻るまでの時間を示すパラメータです。この値はms(ミリ秒)で表されます。

1. RELEASE TIMEフィールドに移動してMain/Menuノブを押します。
 2. パラメータを変更します。
 3. Main/Menu ノブを押して変更内容を保存します。
- 注) BACKボタンを押すと、変更がキャンセルされます。

dbx DriveRack Output

DriveRackは、ハーマンのdbx ブランドが製造するハードウェア製品群です。EON700に組み込まれたこのDriveRack機能は、このJBLスピーカーに内蔵されたスピーカーとPass Thru出力の組み合わせを最適化するために設計されています。

AFS by dbx(自動フィードバック抑制)

ミックス入力からオーディオフィードバックが戻ってくる前に、ユーザーが出力に最大3dBのトータルゲインを追加できるようにする処理の組み合わせです。AFSは、出力マスターEQの前に、オートセンシングと非常にタイトな幅のパラメトリックEQを組み合わせることで、これを実現します。

「AFS by dbx」のOn/Offを選択すると、AFSプロセッサのオン/オフが切り替わります。

Reset Filters

すべてのフィルターをリセットし、潜在的なフィードバック周波数のリスクを発見するために、フィルターをリセットして最初からやり直すよう促します。

Output EQ

オーディオ信号がアンプやスピーカーに供給される前のメインミックスのフィルター調整を行うことができます。一般的なスピーチや音楽のスタイルに合わせた、選択しやすいプリセットカーブが含まれています。また、各プリセットをカスタムプリセットにロードすることで、出力パラメトリックEQを詳細に調整することも可能です。各帯域のレベル、周波数、幅(Q)を調整することができます。

〈Output EQ〉

On/Offを選択すると、出力EQプロセッサの現在の設定を有効または無効にします。

〈Preset〉

Main/Menuノブを回転させることで、Output EQのプリセットを表示、選択することができます。

1. メニューから「Presets」を表示し、MAIN/MENUつまみを押します。
2. MAIN/MENUノブを回して、プリセットを表示します。
3. MAIN/MENUノブをクリックすると、現在表示されているプリセットがロードされます。
4. カスタムプリセットをロードし、MAIN/MENUノブをダブルクリックすると、Master EQの編集ページが表示されます。

この設定画面では、MAIN/MENUノブを回転させて、グラフ表示から各項目を設定することができます。さらにノブをクリックすると、ゲイン(プラスまたはマイナス、dB)、フィルター周波数、Q(フィルター幅の調整)を編集することができます。任意のプリセットをロードし、メニューをスクロールして任意の設定を調整し、カスタムプリセットとしてさらに編集することができます。編集を保存しようとする、「この操作を行うと現在のカスタム・プリセット設定が削除され、現在表示されている設定がロードされます」という確認ダイアログが表示されます。

Bass Boost

システムに2dbの低音を追加する機能です。

「Bass Boost」のOn/Offを選択すると、ベースブースト機能の有効/無効を設定します。

Pass Thru & Time Align

ミックスを追加のスピーカーに送るための設定をすることができます。Pass Thru から供給するスピーカーの種類、そのスピーカーと聴衆との位置関係に基づいたプリセットと設定が含まれています。

Pass Thru

Pass Thru XLR 出力フィードを有効または無効にします。

Presets

XLRのPass Thru出力で3種類のスピーカーの組み合わせを選択することができます。

〈Full Range〉

他のフルレンジスピーカーへ出力します。

〈Sub〉

サブウーファースピーカー用に低周波を分離し、Pass Thru XLR出力に供給します。内蔵アンプ/スピーカーにはHPF(ハイパスフィルタ)により80Hz以上の信号のみを通過させ、Pass Thru XLR出力は80Hz以下のミックス信号のみを通過させるように自動的に設定されます。

〈Custom〉

ユーザーが手動でPass Thru出力の設定を行うことができます。

HPF on this Speaker

内蔵アンプ/スピーカーとツイーターバーに選択した周波数以下の信号をフィルターします。

LFP on Pass Thru Out

Thru Out XLR出力フィードのローパスフィルターを設定するために使用します。

Delay Pass Thru Out

ms単位で入力します。

Delay This Speaker

ms単位で入力します。

Settings (設定)

BT Audio Pairing

最大30秒間Bluetoothオーディオのペアリングを有効にします。ペアリングが完了したとき、または30秒経過したときにオフになります。

BT Control Pairing

JBL Pro Controlアプリで最大30秒間Bluetoothコントロールのペアリングを可能にします。ペアリングが完了したとき、または30秒後にOFFになります。

EON700スピーカーは、Bluetooth接続するとき、セキュリティのためPIN番号を確認します。Bluetoothコントロールのペアリングを確立するため、必ずPIN番号をチェックしてください。

LCD Contrast

液晶ディスプレイのコントラストを0～100%の間で調整することができます。

Firmware Version

スピーカーに搭載されている現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

Factory Reset

Bluetooth通信のペアリングを含め、スピーカーのすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

タイムアライメントについて

客席から1番遠いスピーカーと他のスピーカーとの間で信号を遅延させます。

例

サブウーファーはステージ前方、フルレンジスピーカーはステージ上に設置。この構成では、サブウーファーは客席に近い位置にあるため、Pass Thru XLRへの信号は少し遅らせる必要があります。

Pass Thru XLR出力は、リスニング距離を稼ぐために、客席の半分後ろに置かれた追加のフルレンジスピーカーに供給されています。この場合、正しいタイムアライメントを補正するために、客席のバックフィルスピーカーを遅延させてください。

タイムアライメントの基本

距離を補償するために、観客から最も遠いスピーカーを決定し、同じ信号を持つ他のスピーカーを遅らせて、観客から最も遠いスピーカーと「時間整合」させます。

音は平均的な湿度、室温の空気中を1msあたり約0.3メートルの速度で伝わります。各スピーカーから客席への距離の差を測定します。客席から最も遠いスピーカーには、タイムアライメントディレイをかけずに送ります。

他の近いスピーカーのディレイは、一番後ろのスピーカーとの距離に基づいて設定します。距離の差を測定し、各スピーカーが最背面スピーカーより0.3メートル前に出るごとに1msを増加します(設定例)。

すべての観客席で同じ距離差になるわけではないので、タイムアライメントは完全ではありません。

JBL Pro Connect アプリ

EON700内の機能をリモートコントロールするために使用するBluetooth Low Energy
対応アプリケーションです。

アプリはiOSとAndroidデバイスに無料でダウンロードできます。

※ユニットが最新のファームウェアで動作していることを確認することをお勧めします。



EON710

システムタイプ	10インチ・パワードスピーカー
ウーファー	710G
・ サイズ	10インチ
・ マグネット	フェライト
・ ボイスコイル	2インチ
ツイーター	2414Hコンプレッション・ドライバー
・ サイズ	1インチ
・ マグネット	ネオジウム
トランスデューサー	インピーダンスLF 4 Ω定格、HF 8 Ω定格
最大SPL	125 dB @ 1 m / 4 π
周波数特性(-10dB)	52 Hz - 20 kHz
周波数特性(-3dB)	65 Hz - 20 kHz
水平指向角度	110度
垂直指向角度	60度
定格出力	1300 W(ピーク) / 650 RMS
AC電源	100 V - 120 V / 220 V - 240 V
冷却	自然冷却
LEDインジケータ	Power、Limit、Signal、Front
入力インピーダンス	50 k / 100 k (アンバランス / バランス)
入力ゲイン	-∞ + 36 db
クロスオーバー周波数	2 kHz
入力	XLRフォン・コンボ / Bluetooth × 2
スルー出力	XLR(オス) × 1
キャビネット	PP+タルク10%
グリル	16GAパンチングスチール (裏面:音響透過性ブラッククロス)
サスペンション/マウント	M10サスペンションポイント × 4
	36mmボールソケット×1
	ユニバーサル・ヨーク・ブラケットホール
ハンドル	底面にケーブルチャンネル装備
質量	12.0 kg
総重量	15.2 kg
製品寸法 (縦×横×高さ)	587 × 332 × 305 mm
外形寸法 (縦×横×高さ)	606 × 439 × 407 mm

EON712

システムタイプ	12インチ・パワードスピーカー
ウーファー	712G
・ サイズ	12インチ
・ マグネット	フェライト
・ ボイスコイル	2インチ
ツイーター	2414H コンプレッション・ドライバー
・ サイズ	1インチ
・ マグネット	ネオジウム
トランスデューサー	インピーダンス LF 4 Ω 定格、HF 8 Ω 定格
最大SPL	127 dB @ 1 m / 4 π
周波数特性(-10dB)	50 Hz - 20 kHz
周波数特性(-3dB)	60 Hz - 20 kHz
水平指向角度	100度
垂直指向角度	60度
定格出力	1300 W (ピーク) / 650 RMS
AC電源	100 V - 120 V / 220 V - 240 V
冷却	自然冷却
LEDインジケータ	Power、Limit、Signal、Front
入力インピーダンス	50 k / 100 k (アンバランス/バランス)
入力ゲイン	$-\infty$ + 36 db
クロスオーバー周波数	2 kHz
入力	XLRフォン・コンボ / Bluetooth × 2
スルー出力	XLR(オス) × 1
キャビネット	PP + タルク 10%
グリル	6GAパンチングスチール (裏面:音響透過性ブラッククロス)
サスペンション/マウント	M10サスペンションポイント × 4
	36mmポールソケット × 1
	ユニバーサル・ヨーク・ブラケットホール
ハンドル	底面にケーブルチャンネル装備
質量	14.6 kg
総重量	18.4 kg
製品寸法 (縦×横×高さ)	670 × 381 × 328 mm
外形寸法 (縦×横×高さ)	684 × 490 × 430 mm

EON715

システムタイプ	15インチ・パワードスピーカー
ウーファー	715G
・ サイズ	15インチ
・ マグネット	フェライト
・ ボイスコイル	2インチ
ツイーター	2414H コンプレッション・ドライバー
・ サイズ	1インチ
・ マグネット	ネオジウム
トランスデューサー	インピーダンス LF 4Ω定格、HF 8Ω定格
最大SPL	128 dB @ 1 m / 4 π
周波数特性 (-10 dB)	45 Hz - 20 kHz
周波数特性 (-3 dB)	55 Hz - 20 kHz
水平指向角度	90度
垂直指向角度	60度
定格出力	1300 W (ピーク) / 650 RMS
AC電源	100 V - 120 V / 220 V - 240 V
冷却	自然冷却
LEDインジケータ	Power、Limit、Signal、Front
入力インピーダンス	50 k / 100 k (アンバランス/バランス)
入力ゲイン	-∞ + 36 db
クロスオーバー周波数	1.9 kHz
入力	XLRフォン・コンボ / Bluetooth × 2
スルー出力	XLR(オス) × 1
キャビネット	PP + タルク10 %
グリル	16GA バンチングスチール (裏面: 音響透過性ブラッククロス)
サスペンション/マウント	M10サスペンションポイント × 4
	36mmポールソケット × 1
	ユニバーサル・ヨーク・ブラケットホール
ハンドル	底面にケーブルチャンネル装備
質量	17.0kg
総重量	21.5kg
製品寸法 (縦×横×高さ)	716 × 438 × 358 mm
外形寸法 (縦×横×高さ)	738 × 543 × 458 mm

EON718S

システムタイプ	18インチ・パワードサブウーファー
ウーファー	718G
・サイズ	18インチ
・マグネット	フェライト
・ボイスコイル	3インチ
トランスデューサー	インピーダンス LF 4Ω定格
最大SPL	131 dB @ 1 m / 2 π
周波数特性 (-10 dB)	31 Hz - 150 Hz
周波数特性 (-3 dB)	40 Hz - 120 Hz
水平指向角度	無指向性
垂直指向角度	無指向性
クロスオーバー周波数	80、100、120 Hz から選択可能
定格出力	1500 W(ピーク)
	1500 Wpk / 500 Wrms / 170 Wcont
AC電源	100 V - 120 V / 220 V - 240 V
冷却	自然冷却
LEDインジケータ	Power、Limit、Front
入力インピーダンス	50k/100k (アンバランス / バランス)
入力ゲイン	-∞ + 36 db
入力	XLRフォン・コンボ × 2
スルー出力	XLR(オス) × 1
キャビネット	18mm Duraflexコート、バーチ合板
グリル	16GAパンチングスチール (裏面: 音響透過性ブラッククロス)
サスペンション/マウント	20mmポールソケットネジ × 1
ハンドル	2カ所
質量	35.5kg
総重量	42.5kg
製品寸法 (縦×横×高さ)	674 × 609 × 637 mm
外形寸法 (縦×横×高さ)	722 × 743 × 713 mm

EON700

SERIES

